

# 品川郷土の会 会報

令和4年(2022)5月  
復刊第124号

発行人坂本道夫  
編集人野口健夫

## 第470回例会開催 5000本のユリを愛でながら散策

新型コロナ蔓延防止措置も終わり、世の中は平常生活に向かいつつあります。とはいえコロナ前は春の大きなイベントだった各地の桜まつりは中止になりましたが丁度、NPO しながわ花海道の2022 ユリ鑑賞ラブウイークの最中だったので、鮫洲入江公園の5000本ユリの鑑賞を兼ねて5月28日(土)、13時半から第470回例会を開催しました。

一部、土佐山周辺に坂や階段など急峻な場所もあり、陽気は前日の雨も上がり真夏の暑さでした、飛び入りを含め10名が京浜急行鮫洲駅改札口に集まりました。

野口副会長の案内で、しながわ花海道作成史跡散策ガイドをもとに、約2時間下記の経路を散策しました。

鮫洲駅集合⇒伊達藩下屋敷跡⇒仙台育英会五城寮跡⇒山内容堂墓所⇒鮫洲八幡神社⇒青雲稲荷⇒泊船寺墓地⇒鮫洲入江広場(5000本百合花壇)⇒船溜⇒⇒東大井区民集会所観光情報スペース(希望者に報告書配布)⇒ジャコウアゲハ繁殖地(沢山の幼虫が遊歩道を横断している姿が確認できました)⇒浜川砲台⇒泪橋⇒天祖諏訪神社⇒坂本龍馬像⇒ボラちゃん橋解散

ジャコウアゲハは第一回目のサナギになっている最中で飛翔している固体数も少なくウマノスズクサに繁殖する幼虫ばかりで

成虫の飛翔が少なく残念でした。

鮫洲入江広場の5000本のゆりは丁度鑑賞ラブウイークの最中7日目でしたが、開花状況は二分咲き程度で若干イベントとしては早かったようですが、真夏の暑さで、かき氷のイベントは盛況だったようです。現地ではしながわ花海道の懸田副理事長や永尾総務理事が対応してくれました。

途中、当日実施したサルビア・マリーゴールドの炎天下での植栽作業も見学しました。

大変な暑さでしたが全員事故もなく立会川駅前、ボラちゃん橋で無事散会しました。



## 南品川櫻河岸 まちなか観光案内所開設

観光資源が点在する旧東海道と、お花見やクルーズで人気の目黒川が交差する場所(品川区南品川 1-3-4)にあった築 90 年以上の交番建物の内部を改装活用した観光案内所がオープンしました。毎週月曜日、木曜日、土曜日の午前 10 時から午後 5 時まで開館していますので覗いてみてください。なお、この建物は元衆議院議員で旧品川町長だった、昌巖氏が中心となり、建設されたものです。

なお、品川女子学園は漆品川町長の長女、漆雅子により創立され、初代校長は総理大臣清浦奎吾夫人で、現在は直系の漆紫穂子さんが 6 代目校長を務めています。



北西面外観(左旧東海道、右目黒川)

## 品川区教育委員会文化財係主催 令和 4 年度 新緑の文化財巡り —東海道の文化財巡り—

やや雨模様の、5 月 21 日(土)9 時半から、30 名が参加して開催されました。密を避けるため参加人員を絞りました。京浜急行新馬場に集合し、4 班に分かれガイドの先導で、寄木神社⇒旧品川橋警察署品川橋交通待機所⇒南品川石積護岸跡⇒長徳寺⇒天妙

国寺⇒品川寺江戸六地藏⇒海雲寺⇒適宜解散、の順で回りました。

途中から豪雨になり、じっくり見学ができなかったのは残念でしたが、久しぶりの教育委員会の企画で好評でした。

予定にはなかった、浦高札場跡や問屋場跡なども訪れました。前日テレビで放映したとかで、雨の中、闇魔いなりを求める方々が長い列を作っていました。

なお、ガイドには当会の野口副会長と渡邊会員が参加しています。今回から、永らくこの行事を担当された寺門氏が転籍になったため、広報、教育委員会など品川区側職員のメンバーも新規参の方が増えました。



洲崎橋横浦高札場跡



南品川石積護岸跡



天妙国寺五重塔礎石



焔魔堂内部



品川寺六地藏尊

予想を上回る豪雨で、ガイドも参加者も散々でしたが、無事史跡巡りは完了しました。次回は秋に予定しているそうです。

## 寄稿

### 瓦版 東海道五三次 冥途の旅、穴の都路 副会長 野口 健夫

コロナ渦も 3 年目に入り感染者数はともかく、ワクチンや治療薬の普及でやや落ち着きを見せてきたようです。感染症と云えば、安政 5 年(1858)7 月から 9 月にかけて、日本中をコレラ渦が襲い、安藤広重など著名人も感染し亡くなりました。こんな時にも江戸では瓦版が発行され、世相を風刺し、明るく振舞っていたようです。沢山あったようですが、東海道五三次物五足齊延命著「東海道五三次 冥途の旅、穴の都路」の冒頭と末尾部分をご紹介します。

都路は五十日あまりの御停止(注:服喪期間)も。げに静かなる御威光や。

時えて流行る疫癘に、死にゆく人は数しれず。老若男女おしなべて、ころりころりと死にゆへに、その名をころりと名づけたり。

お江戸ばかりと思ひのほか 品川辺は なを多し。中にも信者は有がたや。

川崎大師へ願かけて、無事に暮らすも利益なり。軒を並べて忌中札、目もあけられぬありさまや。

ここに哀れは芸人の、永の休みで銭はなし。

仲間に香典やるうちに、自分も 貰ふ者もあり。

損得なしの たてんぼう。

当たりはずれは 時の運。

.....

.....

四海静かにおさまれば、諸人安堵の想ひせん。

なを 当年はいつよりか、たぐい稀なる豊作にて。

狐退治のそのあとは、狸であらで万民も、皆太平の腹堤。

打ってかはりし楽しみは、これ神国の御蔭ぞと、御

代の壽 祝みたりける。

蓮台道人述

はるばると赴く穴の都路や

栄花の夢の五十三次

数万人が罹患したコレラ禍によくも暢気な…という感じですが、江戸っ子はどんな深刻なときにも明るく振舞う人種でした。

### 当会に関連した催し情報

#### 大田区郷土の会 例会

6月9日(木)

○川端龍子記念館見学 学芸員の解説

7月12日(火)

○『寅歳(亥歳・卯歳)に想う、人生100年時代、地元の地名考(鶴と白鳥の食文化)』

#### 世田谷区誌研究会 6月講演会

演題『玉川全円耕地整理事業』

～わがまちは、わが手で開拓を！

講師 奥沢地誌保存会・染野和夫

日時 令和4年6月23日(木曜日) 予定

場所 ひだまり友遊会館

時間 1時開場、1時15分講演 90分

### 郷土・郷土史関連図書情報

品川区内地域や郷土史に関連した図書を紹介します。興味のある方は、書店等で入手するか近くの公立図書館などで閲覧下さい。

## 1. 江戸前の海の物語

魚類学者が語る東京湾の歴史と未来

一万二千年前から現代までの海と人の歴史、未来の海と人の営みに魚類学者の視点で迫る。約百キロ変動した海岸線、萬葉集や江戸時代の料理本に描かれた豊饒の海が、汚染された開発の海になるまでを地図やグラフとともに語ります。中世品川湊の記述がありますが、本件に関する引用・参考文献が少なく寂しい気がします。

著者：河野 博

発行：原書房

判型：四六判

頁数：296頁

価格：2640円

発売日：2022年1月7日

ISBN 9784562059935

## 2. シリーズ地域の古代 東国と信越

ヤマト王権にとって異国に匹敵するほどの重要地域であった東国。勇猛果敢な性格で知られ、8世紀中頃以降の「坂東」は、征夷のための兵員・軍糧の兵站基地であった。しかし王権との平衡関係が崩れたとき、東国は王権への敵対地域として立ち現れてくる——。国造(クニノミヤッコ)と屯倉(ミヤケ)、渡来系移住民、古墳と埴輪の特質、国府・郡家(郡衙)などの官衙(カンガ)、村落寺院と地方寺院、ヤマトタケル伝承、「東国」観の変遷など、斬新な切り口で古代東国地域の実像に迫ります。屯倉のはじまりや、武蔵の乱の記述がります。

編者 吉村 武彦 ほか

出版社 角川書店  
価 格 2530 円(税込)  
頁 数 320 頁  
発売日 2022 年 4 月 4 日  
判 型 四六変形版  
ISBN : 978-4-0470-3695-6

頁 数 96 頁  
発売日 2022 年 6 月 4 日(土)  
判 型 A4 横型  
大田区・品川区の大型書店でのみ販売

### 3. 東京の教科書

最近流行の大人のための地元発見関連図書です。古代から近代まで簡潔に図解しています。理科、地学、生物、社会、歴史、地理、交通、国語、言葉、文学、家庭科、美術、算数、統計などの項目に分け解説しています。居木坂貝塚が取り上げられています。大森貝塚は載っていないのが残念です。

編集者：JTB パブリッシング  
出版社：JTB パブリッシング  
発行日：2021 年 11 月 30 日  
版 型：B5 変形版  
頁 数：176 頁  
定 価：1980 円(税込)  
ISBN 978-4-5331-4710-4

### 4. 写真で見るわがまち

地域雑誌「月刊 おとなりさん」の最新図書です。「月刊 おとなりさん」に連載中の同名企画を書籍化したもので、西村隆太氏が、大田区立郷土博物館、しながわ WEB 写真館、品川歴史館などが所蔵する、往年の貴重な写真を選びすぐり書籍化したものです。

編 者 月刊 おとなりさん  
出版社 (株)ハーツ&マインズ  
価 格 1980 円(税込)

## 当会の関連行事について

### 品川郷土の会 年次総会兼第 471 回例会お知らせ

第 471 回例会は元に戻って座学とします。詳細は未定ですが、2-3 時間の散策する予定です。もしご希望のテーマや分野があればご連絡ください。検討したいと思います。

散策要領や出欠確認は、ご希望などを鑑み、追って往復はがきで、ご案内いたします。

日 時：6 月 25 日(土) 13 時 30 分  
場 所：中小企業センター小会議室  
演 題：未定  
講 師：未定  
参加費：500 円

(復刊 124 号おわり)

品川郷土の会や本誌についてのお問合せは、  
〒140 - 0001 品川区北品川 3-6-13-503  
携帯電話 080-5497-4633 坂本まで

※活動の詳細は「しながわ すまいる ネット」  
をご覧ください。